

民生文教委員会 テーマ「熱く語ろう！犬山のスポーツ施設」

委員長 三浦知里、副委員長 久世高裕、岡村千里、鈴木伸太郎、吉田鋭夫、柴山一生



No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	新しい武道館を建てて欲しい。	老朽化している部分もあるので、補修すべきところは補修しながら、将来的には地域的配置を考慮していききたいと思います。
2	体育館・武道館が犬山城に近くて、駐車場を利用できない。	観光とスポーツ施設は分散して設置するべきと考えますので、新体育館建設とあわせて解決を図ります。
3	新体育館をハザードマップで危険地域とされているところに建てるのは言語道断。	精査するべき問題と考えています。
4	市民プールを温水プールにしてほしい。子どもが遊べるプールをつくってほしい。	市民プールの目的や利用者を考えた上で、スポーツ施設全体の中で検討していきます。
5	せっかくつくるなら、小牧のパークアリーナのような施設をつくり、温水プールを併設させて欲しい。	自治体規模や財政的に困難と考えます。
6	体育館は広域行政の中で近隣市町のものを利用するべきではないか。	大会やイベントに応じて必要な機能を考慮しながら、近隣市町とも協力していききたいと考えています。
7	中小規模の体育施設をいくつかつくり、ネットワーク化すればいいのではないか。	企業や小中学校の体育施設をネットワーク化することは重要だと考えています。
8	現実論ばかりでなく、理想をもって魅力あるまちづくりをしてほしい。	ご指摘のとおりですので、行政にもしっかり働きかけていきます。
9	新郷瀬川の拡張工事とあわせて遊歩道を整備して欲しい。	現在、「さくらねっと・うおーく」で計画しています。
10	何か施設をつくったらアクセスも考えて欲しい。	当然のことと考えますので、しっかり計画に反映させていきます。
11	学校の体育館を開放して欲しい。	現在も開放しています。

建設経済委員会 テーマ「どうなる？どうする？ごみ問題」

委員長 岡 寛、副委員長 大沢秀教、市橋円広、柴田浩行、小林敏彦、矢幡秀則、稲垣民夫

【テーマ1】減量化やごみ袋、収集のあり方



No	市民からの意見
1	ごみ処理に関する情報を広報等を利用して公開して欲しい。市に申し入れをしたら家庭系の可燃ごみの情報だけが提示された。事業系の可燃ごみの情報も公開して欲しい。ごみ袋の有料化による収支を明確にして欲しい。
2	ごみ袋の有料化による収支について、市民にきちんと年度報告をして欲しい。現状の収支から、今後値上げするのか、値下げするのかなどの見通しを示して欲しい。野焼きが見受けられるので監視を厳しくして欲しい。野焼きの規制に対して扶桑町など近隣市町と連携を図って欲しい。
3	楽しんでごみの減量ができる仕掛けをして欲しい。
4	ごみ袋の有料化は、税金の二重取りだと考え反対したが、結果としてごみの減量化が進んだ。広報にダンボールの生ごみ処理機が紹介されており導入した。ごみ減量の喜びを味わえる。このように市民に様々なごみ減量の方法をPRして欲しい。
5	ダンボールの生ごみ処理機の効果は高い。使用してアンケートに答えたが反映されていない。広報でダンボールの生ごみ処理機についてもっとPRして欲しい。
6	ごみについては、教育が必要と考える。広報に月1回1ページ、ごみ問題に関する記事を掲載して欲しい。例えば、ごみ捨ての注意、減量の報告、収支報告など。
7	ごみ袋の有料化には賛成だが、単価が高いと考えるので検討して欲しい。ごみ出し困難世帯への援助を検討して欲しい。尾張パークウェイの不法投棄が多いので対策を検討して欲しい。

【テーマ2】ごみ処理施設の建設計画

No	市民からの意見
8	ごみ処理施設の建設候補地に対して、小牧市長や岩倉市長より申し入れがあったが、各議員はその件についてどのように考えるのか。
9	ごみを高温で処理をすれば、プラごみと生ごみの区別がなくなるはずである。そうすれば、ごみ袋の有料化も必要でなくなるはずである。高温処理方法のごみ処理施設を検討して欲しい。
10	ごみ処理施設の建設地について、地元では反対している。市長が市民の声を聞いて市政運営をしていくように議会として働きかけて欲しい。

【建設経済委員会の見解】

今回の意見交換会は、議論をして1つの結論を導き出す会ではなく、参加いただいた皆さんと議員が同じ立場で意見表明ができ、問題に対して情報を交換し合い、認識を深めることを目的としています。皆さんからいただいたご意見については、今後の委員会の中でも更に議論を深めると共に、個々の議員活動にも活かしていきたいと考えています。

また、行政の担当部署にも皆さんからの意見をしっかりと伝え、対応が必要な点については、働きかけています。

平成23年10月18日開催

市民との意見交換会

市民の皆さんのご意見とその回答



▲総務委員会

犬山市議会は、昨年10月に施行した「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、昨年10月18日に南部公民館で「市民との意見交換会」を開催しました。

武田邦彦氏（中部大学教授）の記念講演の後、3常任委員会に分かれ、それぞれのテーマについて、市民の皆さんから貴重なご意見をいただきました。



▲建設経済委員会



▲民生文教委員会

今回は、その中で主なご意見について、委員会の見解をまとめたのでご紹介します。

（紙面の都合で全てのご意見が掲載できませんでしたが、市議会ホームページに会議録を掲載しましたのでご覧ください。）

総務委員会 テーマ「町内組織における防災対策」

委員長 後藤幸夫、副委員長 堀江正栄、水野正光、中村貴文、ピアンキアンソニー、上村良一



No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	原発におけるがれきの対処方法はどうか。放射線量計測は行っているか。	がれきについては、受け入れないという方針で考えています。放射線量の測定は、学校関係を測定して安全であることをアピールするべきだと考えます。
2	河川、ため池の決壊の際の避難場所までの明確な避難マップを作って欲しい。	年度内に過去災害のあった浸水区域を載せたハザードマップを含めた形の防災マップが完成する予定です。
3	防災マップ作成を防災安全課から消防本部へ移管できないか。	防災安全課がリーダーシップを取りながら、関係各課と協力して情報を集約するよう行政に指摘していきます。
4	地域住民が参加して防災マップが作れないか。	地域ごとで小学校区単位等、地域の視点で住民参加の形でマップを作るよう指摘していきます。
5	犯罪マップの作成はできないか。	防犯灯の設置、市内でのコミュニティの青パトのパトロールの強化等に対応していきたいと思っています。
6	高齢化社会を迎えるために救急車を増やせないか。	現時点で救急対応は充足していますので、広域連携の中での必要要請で対応していきたいと思っています。
7	消防車の通行できない道路の拡張工事ができないか。（西楽田団地内）	委員会として現場を見に行き、町内の方々の意見もお聞きして、行政にしっかりと伝えていきます。
8	犬山市在住の職員が多いと災害時に有効であると考えがどうか。	地域の方々と行政が協力して対応に当たることがよりよいことと考えます。
9	非常時の発電機が用意されているのか。	新庁舎に用意してあります。
10	緊急時対策としての携帯電話の使用時に衛星でのチャットできるシステム作りはできているのか。	まず市で発信している「安心情報配信メール」の加入率を上げていくことに取り組んでいきたいと思っています。
11	防災グッズのリュックサックの配布は考えているか。	基本的な考え方として、必要なものは自分でそろえるということをお願いしたいと思います。
12	広報で避難所リストが掲載されていたが、地域の避難所の収容人数が把握できているか。	身近な避難所として47か所に増やしたところです。地域との連携で自主防災組織を強化していく方向で行政に働きかけていきたいと思っています。
13	濃尾大震災から120年経っている。全壊、半壊、死者など、どのような想定被害を考えているのか。	想定外の地震災害に対して見直しが必要であると思っています。
14	災害時のために前原台の浄化槽の下水道工事を行って欲しい。	早期に前原台の下水を接続できるように行政に働きかけていきます。